

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和4年1月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇あけましておめでとうございます

今年も新型コロナウイルス感染症の輪から逃れられそうにもありません。変異が進み、感染力の強いオミクロン株の感染拡大のスピードが急激です。

”にじと風”では、職員から利用者への感染リスクを最小にするために定期的に職員全員のPCR検査を実施しています。

幸いなことに”にじと風”や私たちの周辺ではパンデミックの発生を免れています。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています

この2年間、”にじと風”は外部との接点を極力止めています。近くの日帰り旅行、夏や冬スキーの一泊旅行、個別には近隣の散策や外部の施設利用支援などの居宅事業も中止しています。入所施設でも面会を限るなどの対策でクラスターの発生を抑えられており学習効果が見られます。

◇障害者福祉の仕組みを知り、理解を

障害を抱える人、それを支える人、関係する人、それを取り巻く”仕組み”の中で私たちは生きています。障害者福祉サービスの仕組みは複雑です。似たような言葉、省略語が氾濫していて取っ掛かるのが難しいのです。まずはその現在の仕組みを知り、理解するには身近に教えてくれる、相談できるところが必要です

コロナ禍の今、「ひよこの会」では対面となる活動は自粛していて、保護者会もWEB会議形式での対話に限っていて、勉強会や施設見学も中止しています。利用者の送迎時の保護者と施設職員とのやりとりのパイプがありますが、保護者同士の横の繋がりは途絶えがちです。

先般、面白いマンガ本”障害のある人の支援の現場探訪記”を紹介しましたので、お手元にある方も、回覧で読まれた方もおいでだと思いますが、でも分かりにくい。身近に教えてくれる、相談に乗ってくれる存在が貴重です。「ひよこの会」もそんな存在になりたい、コロナ禍明けをにらんで保護者同士の対話の活性化の場を実現したいと思います。

にじと風相談室は少人数の所帯ですが、困りごとへの対応で、八千代市近隣、県下、近隣都県へと駆けずり回っています。公的機関での親身のある相談窓口に期待をしたいものです。

◇にじと風保護者会がありました

- ・日時：1/8(土)、10:00-11:00
- ・参加者：上野和美、白柳都、清水和美、笠川智子、伊藤麻紀、吉野真里子
- ・話合ったこと(今回も三密を避けてWEB会議形式で行われました)
 - *収益事業の市役所フリマは、コロナ感染状況をみて再開時期を決めることとし、再開準備を念を入れて行う必要がある(再開告知、会場設営、やる事柄の再確認、分担など)。
 - *要望書案については、現在出ている意見を中心にまとめることとする。
 - *会として、会員の横の繋がりが薄くなっていて、必要な情報を持ちえない状況にないか懸念されるので、先に作成した「にじと風保護者会の葉」をいま一度配布する。
 - *施設側から施設にじと風の室内換気の改善のための改修工事を実施したとの報告があった。

◇12月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	10/11(月)~1/15(土)	きょうされん物品販売(冬)*	96,404	伊藤麻紀/有本美希/他職員/吉野純子
2	12/11(土)、9:00-10:00	資源回収	2,599	大野晃
3	1/8(土)、9:00-10:00	資源回収	2,417	大野晃
4	1/9(日)	市役所フリマ	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)

* 仕入れ代等の原価分を除いた粗利を示す。

◇にじと風、施設内での行事から

☆ 1/10(月祭)新春もちつき、書初め大会

今年も餅つきをしないで、切り餅を焼いて、あんこ、納豆、…と好みで、最後のメはとん汁でした。
書初めも年々上手になっている気がします。



☆ 12/25(土)クリスマス会



皆で手作りのケーキをいただきました。
それぞれの施設からの出し物でにぎわいました。
最後はプレゼント交換をして“メリークリスマス”。

◇これからの予定

- ・1/11(火)～1/22(土) きょうされん(バレンタインチョコレート販売)
- ・2/6(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール) /⇒中止
- ・2/12(土)、9:00-10:00 資源回収

◇編集後記

新型コロナウイルスのオミクロン株の出現で、コロナ禍の終息が遠のいた感じがです。
しばらくは感染対策の基本を忘れずに、コロナ禍明けを目指して一步を、一つを。 (吉野康生記)